

科目名	PAL（専門職中国語）	科目コード	1257	単位数	2
担当者名	複数担当教員（中国語）	開講セメスター	第6セメスター	開講年次	3年次
授業の方法	講義	実務経験	無		

●授業のねらい

本講義は、「アジアの時代にアジアを学ぶ」という本学の教育目標に立脚して、中国と北海道地域との文化・経済の交流や発展に貢献できる人材を養成することを目標とする。

真実の中国を知るため、「短文閲読」を通して、中国の歴史や文化、最近の事情などを理解した上、日本の歴史や文化をも中国語で紹介できることを目標とする。

また文章の書き方や翻訳の仕方を学習して、PAL で学んだ語彙や表現をさらに深化させ、自分なりの見解が述べられるうえ、問題意識や課題の討論ができる実力の養成を目指す。

●到達目標

到達目標としては、

引き続きHSK5～6級レベルの語彙や表現を学び、中国の現状や課題がよく理解できるようにする。

専門知識や商学実務に必要なコミュニケーション能力に到達させる。時事中国語を学び、教科書の文章を日本語に訳し、自分の見解を中国語で表現できるようにする。

●授業内容

1週目 教科書「町はこうしてふいに静まり返った」+翻訳

2週目 教科書「中国SF《三体》が日本で大人気」+翻訳

3週目 教科書「中国第一部民法典」+翻訳

4週目 教科書「若者に人気の「ビリビリ」」+翻訳

5週目 教科書「北斗ナビが見守る今日」+翻訳

6週目 教科書「シングル経済が新たな消費に」+翻訳

7週目 教科書「都市こぼれ話」+翻訳

8週目 教科書「西夏古籍」+翻訳

9週目 教科書「ポストコロナ時代経済」+翻訳

10週目 教科書「都会と農村の医療格差が解消」+翻訳

11週目 教科書「中国人の声はなぜ大きい」+翻訳

12週目 教科書「隅に追いやられていくお年寄り」+翻訳

13週目 教科書「中国の白湯はすごいぞ」+翻訳

14週目 教科書「人は仕事のみにて生きるにあらず」+翻訳

15週目 教科書「『お久いぶり、武漢』」+翻訳

16週目 『お久いぶり、武漢』視聴。但し、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施出来なかった場合は、補講授業を行います。

●準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

語学力を早く上達するためには、授業内容を事前に予習、復習、そして繰り返し練習することが重要である。毎回授業の前に、教科書の内容に関連する資料を調べて30分以上予習し、その上、毎週のテーマをしっかりと取り組んで、毎回授業後に復習として本文を訳してから提出すること。

●成績評価の方法・基準

期末テストの成績と提出された訳文及びHSK5・6級の成績をポイントとして合算して評価する。

●履修上の留意点

毎回、授業に出席するのが基本である。なお、理由なく5分以上の遅刻は欠席とする。成績の評価は、授業が前16週のうち、11週以上出席した学生を対象にする。

PAL の履修は前期PAL の成績がB+評価以上を条件とする。

また、やむを得ずオンラインで受講する場合、カメラを解除して受講することが必須な受講条件とする。

●課題に対するフィードバックの方法

フィードバックの方法としては、課題練習や宿題などをチェックしてから、自己点検を行わせる形で行う。

●テキスト

三瀨瀧正道等「時事中国語の教科書2021年版」朝日出版社 2021年1月

1900円+税

●参考書

HSK5～6級単語帳

HSKの過去問を無料ダウンロード（1～6級過去問・リスニングあり）

<https://12daimedaimonya-chinese.com/hsk-download/#HSK1>

●更新日付

2022/02/03 07:51